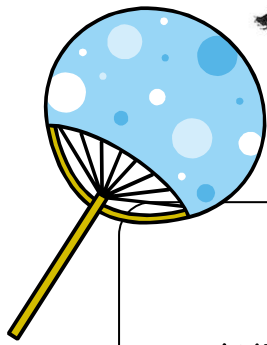


メールにいがた



第103号 2013年8月
新潟県点字図書館だより

今号の内容

1 お役立ち情報 3ページ

- 新潟県視覚障害者福祉協会に日常生活訓練の専門指導員が配置されています！
- 9月の「ふれあい・いきいきサロン」のご案内
- 長岡市ロービジョン相談会のご案内
- 「世界網膜の日 in 新潟」が新潟市総合福祉会館で開催されます
- 訪問マッサージ交流会のご案内
- 新潟県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会のご案内
- 第12回新潟県障害者芸術文化祭 ～ふくらむアート ふあっとにいがたフェスティバル～ 作品・発表者募集中！
- 新潟県視覚障害者フリーキャンパス（第33回新潟県視覚障害者福祉大会・第63回新潟県視覚障害者文化祭）のお知らせ
- 12月及び3月の盲導犬説明会（宿泊型）のご案内

2 図書紹介コーナー 8ページ

- 図書選定委員 石川登志子さん（新潟市西蒲区）の図書紹介
「唐傘一本」 小松重男著 ベストセラーズ（2011年）

3 トーク広場 9ページ

- 楽老へのデイジー図書「日本語語感の辞典」によせて
高澤久泰さん（新発田市）
- 「思考の解体新書」林成之著のデイジー図書を聞いて
野沢シゲ子さん（上越市）

4 6月・7月登録の新刊制作ボランティアの紹介 11ページ

- 点訳 36名、音声訳 22名、デイジー編集 5名

5 点字図書館から 11 ページ

- 花と遺跡のふるさと公園（新潟市秋葉区）への交流バス旅行参加者を募集します
- 移動点字図書館を柏崎市総合福祉センターで開催します！
- 第149回芥川賞・直木賞受賞作の貸出予約を受け付けています！
- 当館で製作している録音雑誌を紹介します
トピックス悠久、ラジオ深夜便、文芸えちご、糖尿病ライフさかえ
- 地デジラジオ（3機種）の操作・試聴体験ができます

6 Q&A 18 ページ

- Q1：点字図書の本インダーから、点字用紙が外れていることがある。何か改善策はないのか。もし利用者側が注意できることがあるのなら教えてほしい。
- Q2：特定の著者や、文学賞受賞作別の著作リストを作ってもらえることはできるのか。

7 開館及び電話受付時間並びに8～10月の休館日 18 ページ

巻末 「日常生活支援機器情報コーナー no.7」

クラウドサービスの活用法

掲載ご協力 株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏 様

※ 新刊案内（6～7月分）は別冊

点字61タイトル、音訳66タイトル

※ 県内主要文化施設の催し紹介（8月中旬～10月上旬）の点字版及び墨字版は別冊、録音版は本編の最後に収録

1 お役立ち情報

●新潟県視覚障害者福祉協会に日常生活訓練の専門指導員が配置されています！

新潟県視覚障害者福祉協会では、視覚に障害がある方の様々な日常生活訓練に応じるため専門指導員を配置しています。

歩行、調理、パソコン操作をはじめ日常生活上の相談や訓練など、お気軽にご相談・お問い合わせください。

お問合せ先：新潟県視覚障害者福祉協会（担当 山口指導員）

TEL 025-381-8130 FAX 025-381-8120

●9月の「ふれあい・いきいきサロン」のご案内

新潟県視覚障害者福祉協会が今年度から始めた「ふれあい・いきいきサロン」、7月には参加者が増え活気が出て来ました。暑い日が続きますが、皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。お茶を飲みながら情報交換しましょう。申込みは不要です。

日時：9月5日（木）、9月19日（木） 何れの日も午後1時30分～3時30分まで

場所：新潟ふれ愛プラザ 2階 ミーティングルーム

新潟市江南区亀田向陽1-9-1

お問合せ先：新潟県視覚障害者福祉協会 TEL 025-381-8130

●長岡市 ロービジョン相談会のご案内

新潟県眼科医会では、目が見えにくいために日常生活に不自由や不安を感じておられる方を対象に、今年度も長岡市で「ロービジョン相談会」を開催します。

ロービジョンに関する医療相談、福祉相談に加えて、日常生活上の便利グッズや視覚補助具の展示・販売も行います。また、日本盲導犬協会による、盲導犬体験歩行会も同時開催いたします。

事前申し込みは不要で、どなたでもご参加いただけます。ただし、医療相談は先着順となりますので、相談希望者が多数の場合はご希望に添えないことがあります。ご了承ください。

日時：9月15日（日） 午前10時～午後4時

会場：ハイブ長岡 2F 会議室

〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目 315-11

TEL 0258-27-8812

内容：

(1) 医療相談（新潟県眼科医会）

- ・視覚補助具（拡大鏡・遮光眼鏡など）の紹介・使用法の指導
- ・日常生活上のアドバイス・日常生活訓練に関する情報提供 等

※相談スタッフ

張替涼子医師（新潟県医師会、新潟大学医歯学総合病院眼科）、
石井雅子視能訓練士（新潟医療福祉大学医療技術学部教授）、
他、視能訓練士複数名

(2) 福祉相談（新潟県視覚障害者福祉協会）

※相談スタッフ

松永秀夫（新潟県視覚障害者福祉協会理事長）

(3) 便利な日常生活グッズ展（日本盲人会連合用具購買所）

視覚障害者のための各種日常生活グッズを展示

(4) 視覚的補助具・機器展示

拡大読書器、各種拡大鏡、遮光眼鏡などの展示

(5) 盲導犬体験歩行会（日本盲導犬協会仙台訓練センター）

(6) 眼科スタッフ向けロービジョンケアミニレクチャー（新潟県眼科医
会）

お問合せ先: 新潟大学眼科内 新潟県眼科医会事務局

新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757

TEL 025-227-2294 FAX 025-227-0785

E-mail gankaika@med.niigata-u.ac.jp

●「世界網膜の日 in 新潟」が新潟市総合福祉会館で開催されます

網膜色素変性症は、目の中の網膜という組織が侵され、次第にものが見えにくくなっていく難病です。この網膜色素変性症を「治る病気」にするために、患者、研究者、支援者が一体となって様々な活動を行っている日本網膜色素変性症協会（通称：JRPS）が、新潟市で「世界網膜の日」を開催します。

当日は、当館も移動点字図書館を会場内で開設します。

日時：9月21日（土） 午前11時～午後4時

会場：新潟市総合福祉会館

主催：日本網膜色素変性症協会（通称：JRPS）

内容及び時間：

(1) 記念講演Ⅰ（多目的ホール 午前11時～正午）

テーマ：「越後瞽女を語る（仮）」

解説：川野楠己氏（NHKチーフディレクター・視覚障害者の伝承文化研究者）

演奏：萱森直子（故小林ハルさんの弟子で数少ない瞽女唄伝承者）

(2) 第17回研究助成授与式（多目的ホール 午後1時～午後3時）

(3) 記念講演Ⅱ（多目的ホール 午後3時～午後4時）

テーマ：「未定」

講師：月乃光司氏（作家、詩人、心身障害者パフォーマンス集団「こわれ者の祭典」代表）

(4) 医療・生活相談等（午前11時～午後4時）

☆医療相談会（4階407会議室）

相談医：張替涼子氏（新潟大学医歯学総合病院 眼科医師）

☆日常生活相談（4階406会議室）

相談対応：視覚障害リハビリテーションネットワーク
「ささだんごネット」

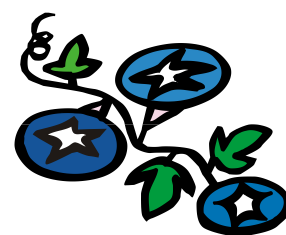
☆盲導犬体験（1階ロビー）

(5) 情報コーナー（午前11時～午後4時）

☆移動点字図書館（4階405会議室）

☆便利な日常生活用具展（4階405会議室）

☆情報機器展（5階大集会室）



●訪問マッサージ交流会のご案内

仕事のことで一人悩んではいませんか？勤務先を明確にしなくても話をすることもできます。どなたでも参加できます。

主催：訪問マッサージ友の会準備会

日時：9月23日（月・祝）

受付9時30分～ 交流会午前10時～正午

会場：新潟市総合福祉会館2階技能習得室3

参加費：無料

内容：訪問マッサージの皆さんを中心に自由な意見交換、操体法の学習

申込先：訪問マッサージ友の会準備会 鈴木洋

TEL 携帯電話 090-7725-2227

E-MAIL mai-hiro.450@docomo.ne.jp

●新潟県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会のご案内

新潟県サウンドテーブルテニスクラブ（新潟県サークルSTT）が、視覚障害者のスポーツ啓発活動の一環として開催する大会です。

参加者の能力に応じたブロックに分け、各ブロック総当たり戦とし、上位3名を表彰します。多数ご参加ください。

開催日及び日程：9月29日（日）

受付（9時30分～）、開会式（9時50分～）、競技（10時～）

表彰・閉会式（午後3時～）

会場：新潟ふれ愛プラザ 新潟市江南区亀田向陽1-9-1

参加資格：視覚障害者卓球に興味のある方。弱視の方もお待ちしております。

参加費：500円（弁当代を含みます。）

申込み及び問合せ先：吉田浩 TEL 025-522-3725

●第12回新潟県障害者芸術文化祭 ～ふくらむアート ふあっとにいがたフェスティバル～ 作品・発表者募集中！

毎年開催している障害者芸術文化祭、今年は11月16日（土）から24日（日）の日程（ただし、24日は音楽発表のみ）で、新潟市江南区の新潟ふれ愛プラザ（体育館）で開催されます。当館の「ふれて楽しむ美術展」もこの期間中に同じ会場で開催します。

障害のある方々が日頃取組んでいる芸術文化活動の発表の場として、また、新たな芸術文化活動のきっかけの場としてご参加ください。

応募資格：新潟県内にお住まいの方で、身体障害、知的障害、または精神障害のある方

応募内容：

（1）美術作品（4部門で作品のテーマは自由）

絵画（素材は問わない）、書道、写真（A4以上、半切り以下）、

工芸（はり絵、ちぎり絵、陶芸、織物、木工品等で手軽に持ち運

べる大きさと重さ)

(2) 文芸作品 (4 部門で作品のテーマは自由)

短歌、俳句、川柳、自由詩 (400 字以内)

(3) 音楽発表 (3 部門)

歌唱 (合唱、独唱等とし、いわゆるカラオケは不可)、器楽演奏 (楽器の搬入・搬出は出演者又は関係者の責任で行う)、踊り (ジャンルは問わない)

応募方法：所定の申込書に必要事項を記入のうえ、9 月 30 日 (月・消印有効) までにお申込みください。当館に応募用紙がありますのでご希望の方はご連絡ください。また、申込み用紙への記入で代筆を希望される方は、その旨お申し出ください。

申込書送付先・問合わせ先：新潟県障害者社会参加推進センター

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1 新潟ふれ愛プラザ

TEL & FAX 025-383-3654

●新潟県視覚障害者フリーキャンパス (第 33 回新潟県視覚障害者福祉大会・第 63 回新潟県視覚障害者文化祭) のお知らせ

「広げよう！共生・自立・社会参加」をスローガンに、県内の視覚障害者が一堂に集い、語り、文化に触れ、情報を交換する催しです。昨年まで個別に開催していた県内在住視覚障害者の福祉大会と文化祭が今年度から一緒に開催されます。

日時：10 月 6 日 (日) 午前 10 時～午後 3 時

会場：新潟市総合福祉会館 新潟市中央区八千代 1-3-1

TEL 025-248-7161

内容及び時間：

(1) 受付 (多目的ホール 午前 9 時 30 分～)

(2) 式典 (多目的ホール 午前 10 時～午前 10 時 25 分)

(3) 全体会・大会宣言 (多目的ホール 午前 10 時 30 分～午前 10 時 40 分)

(4) 講演 (多目的ホール 午前 10 時 50 分～11 時 50 分)

テーマ：放送こぼれ話

講師：和田朋子氏 (BSN 新潟放送アナウンサー)

・ ・ 昼食、休憩 ・ ・

(5) 文芸作品選評（多目的ホール 午後0時50分～午後1時50分）

(6) シンポジウム（多目的ホール 午後2時～午後3時）

テーマ：情報機器が開く視覚障害者の新たな世界

基調講演：荒川明宏氏（㈱ラビット代表取締役）

(7) 情報コーナー（正午～午後4時）

☆移動点字図書館

☆福祉機器展・便利な日常生活用具展

☆音声付きDVD映画観賞会

●12月及び3月の盲導犬説明会（宿泊型）のご案内

日本盲導犬協会スマイルワン仙台では平成25年度の盲導犬説明会（宿泊型）の第6回と第7回の参加者を募集しています。

盲導犬との生活に興味をお持ちの方々が、スマイルワン仙台に1泊2日の日程で盲導犬との歩行体験や生活体験を行うことで、実際に盲導犬を持つ上での疑問・不安の解消及び盲導犬の良さを実感してもらうものです。

期日：第6回 12月7日（土）～12月8日（日）

第7回 3月8日（土）～3月9日（日）

場所：日本盲導犬協会 スマイルワン仙台内

宿泊はセンターのバス・トイレ付きの個室で、ご家族の方の同伴・宿泊も可能です。

参加費：ご家族の方を含め無料（宿泊費、食費も不要）です。ただし、往復の交通費はご負担ください。

申込方法：電話、ファックス、郵送等で事前にお申込みください。

申込先・お問合せ先：

日本盲導犬協会 スマイルワン仙台 ユーザーサポート係

〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂庭字松倉 12-2

TEL022-226-3910 FAX 022-226-3990

2 図書紹介コーナー

「唐傘一本」 小松重男著（ベストセラーズ 2011年）

図書選定委員 石川登志子さん（新潟市西蒲区）

ひょうひょうとしたユーモアとエロチシズム、つい「あははっ！」と笑ってしまいます。

貧乏御家人の末っ子の清兵衛を、先代が後継ぎに望んだ理由はといえば、「無口で、おとなしく、律義」だったからである。当時、力をつけてきた町人にとって、貧しい武士など奉公人と同然で、しおらしかった妻も、「何かあったら唐傘一本で出て行っていただきますよ」が口癖になる始末。そんな妻が浮気を疑い、夫の股間にうどんこをまぶして外出させた。さすがの清兵衛も怒りがこみあげて、浮気の決意をするが…（表題作）。

浮世をくそまじめに生きる男の哀しい人生、全4篇収録。

おんみつ侍／唐傘一本／鯉の縁側／シベリア

5月に新潟市内で朗読会があり、その時の演目が小松重男の「間男三昧」でした。きわどいタイトルにニヤリとしながら、朗読に聞き入りました。

「間男三昧」をしている女、浮気をしては離縁されるのを繰り返している女なのに、なぜか憎めない。「唐傘一本」の清兵衛も、清兵衛を尻に引きっぱなしの女房も、「何！この夫婦！」と多少イライラしつつもやはり憎めない。小松重男の書く人々は、見苦しくてもかっこ悪くても、みんな自分に正直に生きている感じがしました。

小松重男は、1931年新潟県生まれです。「唐傘一本」がお気に召しましたら、是非、彼の他の著書もお読み下さい。

点字：3冊、デイジー：6時間26分

3 トーク広場

楽老へのデイジー図書「日本語語感の辞典」によせて

高澤久泰（たかさわ ひさやす）さん（新発田市）

今年の9月に81歳の誕生日を迎えます。毎日毎日時間に追われるのではなく、時間を追いかけるようにして生活しております。

点字図書館の新刊案内に、珍しい書名の辞典が貸出されていることを知りました。私はこの辞典の名に少なからずこだわりを感じました。一般的に辞典の名称と言えば、「〇〇辞典」というのが普通ですが、この辞

典は「〇口の辞典」と題名に助詞の「の」が用いられているからです。この助詞の有るか無いかにより、辞典の内容について特別な編集方法をとられたのではないかと思ったからです。このこだわりを解くためにも、読んで確かめることが先決問題だと思い、貸出しを依頼したのです。

最初の 10 時間ほど聴いてみるとなかなかの奥の深さに驚きました。通常の国語辞典とは違い「語感」の説明、同義語などについても詳細な説明がされておりました。

この辞典は、日本語の話し言葉や書き言葉の中にカタカナ言葉を入れて話している知識人に読んでもらいたい書です。ある数学者は、「日本語を壊したのはNHKと民間の放送局のアナウンサーの方々である。」と書いておりました。これも納得のいく事柄です。

また、日本古来から伝わる美しい日本語を耳にしたいものと願っております。私は彼是 15 年前から「青鷹（もろがえり）」句会に席を置いて、俳句を学んでおりますが、一向に芽が出ません。作る句はただ事俳句ばかりです。

大切な一語を選ぶのに表現する対象に踏み込み、しかと推敲する力不足が原因しておりました。でも俳句は楽しいものです。老いるにも、俳句に生かされるのではなく、俳句に生きることに発想を変え一日一日自在に過ごしております。

これからは、俳句歳時記と語感の辞典を身近において、句作りに利用させていただくつもりです。生きてきた身の証として、世間や句友から認められるような俳句を一句なり残したいと思っております。

最後に、この大作に従事されました方々の洗練された、声の美しさ、柔らかさ、歯切れの良さ、読みの速さなど申し分のない出来栄えでした。これ程にも訓練された音訳者を揃えたことに感心しております。これからも十二分の自信を持たれ音声訳に励んで頂きたいと願っております。また、若い後進音訳者の育成にも尽くして頂きたいと思えます。

追伸 八十歳の節目の作です。 枯れ蔓に朱を執念の烏瓜

「思考の解体新書」林成之著のデイジー図書を聞いて

野沢シゲ子さん（上越市）

先日お借りした脳神経外科医の林成之先生の著書で「思考の解体新書」

には深く感動しました。理療科の教員をしていましたので、このような本にも興味があり、繰り返し聞く事によりとても良い勉強になりました。

この本の中で、病気のおじいさんがおばあさんを好きになる事によって、脳からとても良い物質が出て、お医者さんも驚くほど病気が回復し元気になった話。人を愛する事は、こんなにも脳に良い刺激になる事など。何度も聞かせていただきました。中でも英語の発音の美しさに引き込まれました。素敵な音声訳をしていただきまして、感謝です。

4 6月・7月登録の新刊製作ボランティアの紹介 (五十音順敬称略)

【点訳】(36名)

石井滋子/小根山啓子/小野ヤイ子/加古川成子/春日カズエ/鹿住富美子
加藤禎/加藤良子/木村明子/桑原勝枝/桑原けい子/後藤順子/佐藤まさ子
佐藤裕子/紫竹美和子/周佐慶子/高桑和子/滝沢和子/得永千恵子
内藤京子/中野裕子/中村良子/並木百合香/橋本美智/古澤加代子
古谷美恵子/増田清江/三間榮治/宮川絢子/宮崎玲子/村山栄子/山崎静
山田勇男/山田美恵子/山本喜美子/渡辺武

【音声訳】(22名)

石井千鶴子/市川能里子/井上ユウ子/植村泰子/加藤美起子/嘉藤百合
桑原文代/鯉江初子/齋藤久美子/坂井信子/鈴木由美/須藤幸代/高橋恵子
高橋百合子/戸島美江/富所純子/豊田直子/永井美智代/中村しのぶ
布施みさ子/山田草子/八幡和歌子

【デイズー編集】(5名)

狩谷ケン子/柴田弘子/林章子/横山トシ子/吉岡廣子



5 点字図書館から

●花と遺跡のふるさと公園(新潟市秋葉区)への交流バス旅行参加者を募集します

毎年実施している交流バス旅行も、6回目となりました。今回は、新潟市秋葉区にある新津美術館と県立植物園の観覧を中心に企画します。現地での移動を極力抑え、長い時間の歩行移動が難しい方にも気軽に参

加していただける内容となっています。現地までの移動は、新潟駅から大型バスをチャーターします。当館職員も全員参加。皆様と過ごす秋の一日を、一同楽しみにしています。

期日：9月15日（日）

行先：花と遺跡のふるさと公園（新潟市秋葉区）

内容（予定／当日一部変更もあり）：

午前8時45分 新潟駅南口発

（信越線 8:23 着、越後線 8:35 着、白新線 8:38 着と接続）

車内で自己紹介など、参加者同士の交流タイム

午前9時15分 新津駅西口発（新津 9:02 着の快速くびき野1号接続上越、長岡方面からの参加者合流）

午前9時40分～午前10時 ふるさと公園着 休憩タイム

午前10時～午前11時20分 新潟市新津美術館 観覧

☆企画展『日本画の現在 20年後の「横の会」』

中島千波、畠中光享など日本画家20人で結成された「横の会」解散から20年たった今、かつてのメンバー12人の新作・近作を発表。美術館学芸員による、視覚障害者のための特別解説「日本画とは～絵画を楽しむために（仮題）」を予定。

午前11時30分～午後0時30分 昼食交流

公園内緑地での昼食交流（雨天時は花と緑の情報センター2階）希望者には、駅弁を実費販売（要事前予約／弁当注文締切は8月末日）。植物園内にレストランもあります。

午後0時40分～午後2時10分 新潟県立植物園 鑑賞温室観覧

☆企画展『紅茶展』

皆さんはお茶の木を見たことがありますか？さわったり、香りや味を楽しんだりと感覚をフルに使って植物を楽しんでみましょう。植物園管理者による、視覚障害者のための特別解説を予定。温室ならではの、珍しい植物にも出会えます。

午後2時10分～午後3時50分 自由散策

☆植物園地内

植物園内観覧、池の周りのウォーキングなどもできます。

☆古津八幡山 弥生の丘展示館

国指定史跡、弥生時代後期の高地性環濠集落の遺跡。小高い丘を登れば、そこは2000年の時を超えた弥生の丘。

☆弥生の丘展示館体験コーナー

土笛・土鈴（どれい）・土器作り体験 実費 100 円（約 60 分）

勾玉づくり 実費 200 円（約 60 分）

火起こし体験 無料（約 30 分）

弓矢体験 無料（約 30 分）

石斧体験 無料（約 30 分）

弥生時代の衣服を着て、写真撮影もできます。カメラはご持参ください。

☆新津フラワーランド

四季折々の花や緑でいっぱい！当日はフラワーランドの日で、1 割引きでお買い物ができます（一部商品を除く）。おばけカボチャコンテストも開催予定。花木のほかに、地酒や秋葉区特産品を扱うショップ「フローラアサヒ」や、玉こん、かき氷、ジュースなどを販売する「味処ひまわり」でお休みいただけます。

午後 3 時 50 分 ふるさと公園発

午後 4 時 5 分 JR 新津駅着予定

（新津 17:19 発の快速くびき野 4 号に乗車までの約 1 時間、近隣飲食店でカフェタイム予定。実費。職員数名が付きます）

午後 4 時 50 分 JR 新潟駅南口着予定

（信越線 17:09 発、越後線 17:00 発、白新線 16:59 発と接続予定）

昼食：持参も可。駅弁希望者は下記の 2 点からお選びください。

(1) S L 浪漫弁当 1,050 円

中身は鰻・いくら・えび・蓮根・筍をちらした寿司弁当です。酢飯にはクルミを入れて食感を楽しめるよう工夫。パッケージには「S L ばんえつ物語号」の 3D ペーパークラフト。触って楽しめます。

(2) 雪だるま弁当 1,050 円

誕生したのは 1987 年 8 月（雪だるまのくせに真夏？）お腹の中には彩りよく並べられた具材がいっぱい詰められています。カラーも定番の白をはじめピンク・ブルー・オレンジ・グリーンを取り揃えています。食べたあとには貯金箱として利用できます。

定員：40 名

参加費（バス代金、保険代金、資料代金、事務手数料の合計）：

新潟駅乗車（往復） 視覚障害者 1 名＋付添 1 名まで 1 組 1200 円

新津駅乗車（往復） 視覚障害者 1 名＋付添 1 名まで 1 組 600 円

現地集合参加 いずれの方も1名につき300円

弁当注文者は、弁当分加算。

注1：1種以外の障害者手帳の参加者の付添者は、美術館と植物園の入館料合計1400円加算。

注2：障害者手帳をお持ちでない単独参加者は、上記のほかに美術館と植物園の入館料合計1400円加算。

ただし、入館料には、学生・シルバー割引などがありますので詳しくは当館にお問合わせください。

申込み：8月14日（水）から受付開始。13日以前のEメール送信などは無効です。定員になり次第締め切らせていただきます。ただし、お弁当の申込締め切りは8月30日（金）迄とします。

電話、来館又はEメールで下記の申込み事項をお知らせください。

（申込み事項）参加者氏名、日中連絡のとれる電話番号、付添予定者の有無と氏名、盲導犬同行の有無、現地での車いす使用希望の有無、駅弁希望の有無と希望弁当番号、土器作り等体験希望（当日申込みも可ですが概数把握のため）、バス利用の有無と乗車場所（新潟駅又は新津駅）、参加費支払い方法（図書館持参、郵便振替又は他の方法）、障害者手帳の等級と番号

参加申込み者には、事前に「旅のしおり」（点字、墨字、デイジー）を送付しますので、希望文字種別もお知らせください。

申込み先：新潟県点字図書館

電話 025-381-8111 Eメール tosyo@ngt-shikaku.jp

キャンセル・返金：

参加費の返納に応じるのは9月10日（火）までのキャンセルに限ります。郵便振替手数料等返金に係る手数料を除く額を、後日申込み者に返納します。

●移動点字図書館を柏崎市総合福祉センターで開催します！

毎年県内各地で開催している移動点字図書館です。今年は柏崎市で開催します。今年度の移動点字図書館は、メールにいがた本編に毎号、日常生活支援機器情報コーナーの記事をご寄稿いただいている（株）ラビット 荒川社長の講演会や三者交流会等、盛りだくさんの内容です。柏崎市をはじめお近くにお住まいの皆さんは、是非お出でください。お待ちしております。

日時：平成25年9月29日（日）午前10時～午後3時

会場：柏崎市総合福祉センター 〒945-0045 柏崎市豊町3番59号
TEL 0257-22-1411

内容：

☆点字図書館のサービス及び貸出し図書等の利用案内、点字図書館利用
希望者の登録

☆プレクストーク（デジタル録音図書プレイヤー）の基本操作説明

☆点字体験教室

☆白杖歩行体験（事前の予約が必要です。）

☆日常生活用具の展示、販売予約受付

☆拡大読書器等情報機器の展示・説明、利用体験、販売予約受付

☆講演会『視覚障害者の情報収集について』

（午前11時～11時30分）

講師・株式会社ラビット代表取締役 荒川明宏氏

講演会の後、質問時間を取ります。

☆視覚障害者生活相談（事前の予約が必要です。）

☆三者交流会（午後1時～）

当館利用登録者、ボランティアと点字図書館職員との交流会

☆公共図書館紹介コーナー

☆柏崎市点訳・音訳グループ紹介コーナー

☆お菓子・軽食・雑貨等販売コーナー

参加費等：入場は無料です。

お昼のお弁当をご希望の方には、注文を受付けます。お弁当とお茶のセットで1個700円です。ご希望の方は、9月22日（日）までにお申し込みください。代金は当日、いただきます。

問合せ・申込み先：新潟県点字図書館 移動点字図書館係

●第149回 芥川賞・直木賞受賞作の貸出予約を受け付けています！

第149回芥川賞・直木賞（日本文学振興会主催）の選考会が7月17日、東京で開かれ、芥川賞に藤野可織（ふじのかおり）さんの「爪と目」、直木賞に桜木紫乃（さくらぎしの）さんの「ホテルローヤル」に決定しました。

何れの作品も貸出し予約を受け付けていますので、ご希望の方は当館へお申込みください。

作者と作品の紹介

☆ 藤野さんは京都市生まれ。同志社大大学院修士課程修了。出版社でアルバイトをしていた2006年、「いやしい鳥」で文学界新人賞を受賞、芥川賞は2度目の候補で受賞。京都で小説を執筆しています。

受賞作は、二人称の「あなた」を多用した文体が印象的な、サスペンスホラー。父親の再婚相手の「あなた」と幼い少女「わたし」の心理的な確執を静かで緊張感のある筆致で描き、人の心に潜む悪意を、淡々とえぐり出しています。

☆ 桜木さんは北海道生まれの北海道育ち。2002年に「雪虫」でオール読物新人賞を受賞し、同作を収録した「氷平線（ひょうへいせん）」で2007年にデビュー。一貫して北海道を舞台に小説を執筆。候補2度目で受賞に至りました。

受賞作は、北国のラブホテルを舞台にした7編からなる連作短編集。恋人にヌード撮影を頼まれた女性店員、働かない10歳下の夫がいる清掃係など、疲弊した地方の町でつましい毎日を送る人間の切実さが丁寧に描かれています。

●当館で製作している録音雑誌を紹介します

各雑誌ともデイジー版での定期貸出しが可能です。1号だけの試し聴きもできますので、お気軽にお申し出ください。

☆トピックス悠久

皆さんの情報収集の一助にと、平成2年5月から毎週火曜日に発行している情報誌で、製作を開始して24年目に入ります。

新潟日報、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞等から、ローカルな情報も含め政治、経済、世界情勢、文学、ホッとできごと等、様々なジャンルの身近でホットな記事を選択しています。

☆ラジオ深夜便

NHK ラジオの深夜番組「ラジオ深夜便」のエッセンスを伝えるべく誕生した月刊誌「ラジオ深夜便」の音声訳版です。記事の中心は、著名人や様々な分野でひたむきに生きる人たちへのインタビューの誌上再録で、番組のコンセプトを誌面にも反映し、話の内容を分かりやすくまとめた聞きやすさが特徴です。

クロスワードパズルや数独（すうどく）などの「脳ストレッチコーナー」も人気があります。

☆文芸えちご

新潟日報、毎日新聞（新潟版、全国版）、朝日新聞（新潟版）、読売新聞（新潟版、全国版）に読者が投稿した短歌、俳句、川柳を音訳し編集したものです。

平成11年4月に創刊し、8月で173号になります。

☆糖尿病ライフさかえ

「糖尿病ライフさかえ」は、公益社団法人日本糖尿病協会が発行している糖尿病の専門月刊誌「月刊糖尿病ライフさかえ」を3時間程度の長さに抜粋、収録したものです。

この糖尿病の専門月刊誌は、編集に医師や看護師、栄養士といった糖尿病医療の専門家と患者さんがあたり、治療の最新情報や食事、運動、健康な生活を送るためのアドバイス、患者さんの体験談コーナーなどがあり、糖尿病の初心者からベテラン患者さんまで、どなたが読んで読めぬある専門誌です。

●地デジラジオ（3機種）の操作・試聴体験ができます

当館に試聴用の地デジラジオが3台あります。ご来館の際、実際にラジオをさわっていただきながら、操作などをご案内することができます。地デジラジオ操作の体験をご希望の方は、事前にご連絡の上、ご来館ください。体験できるのは以下の3機種です。

(1) 操作に音声ガイドがついた機種

製品名1「テレビが聞けるラジオ」

（幅170mm、高135mm、厚45mm）

メーカー名・アステム、定価29,000円

製品名2「ワンセグ・オーディオ・レシーバー」

（幅140mm、高72mm、厚30mm）

メーカー名・加美電子工業、定価27,300円

(2) 操作に音声ガイドのない、「手のひらサイズ」の小型機種

製品名3「地デジが聴ける！ポケットワンセグラジオ」

（幅68mm、高97mm、厚25mm）

メーカー名・YAZAWA 定価：7,980円

≪当館での操作結果≫

内蔵アンテナで地デジが受信できるのは、館内の限られたエリア（入り口周辺のみ）だけでした。内蔵アンテナでの受信が難しい時は、機器

に付属するアンテナケーブルをテレビアンテナコンセントに差し込み、ラジオと接続すると地デジを受信できます（製品3は内蔵アンテナのみ）。しかし、この場合は、アンテナケーブルの長さの関係で、地デジラジオを使える範囲は、テレビアンテナコンセント周辺に限定されます。

6 Q&A

利用者の皆様から寄せられたご質問やご意見に、お答えします

Q1：点字図書のバインダーから、点字用紙が外れていることがある。何か改善策はないのか。もし利用者側が注意できることがあるのなら教えてほしい。

A1：用紙が外れる原因としては、ページをめくる際に上下のリング部分に用紙が引っかかり折れてしまうからです。当館点字図書は金属リング製とプラスチックリング製を使用しています。現在では金属リングで統一していますが、残念ながらこれに代わるバインダーはありません。ひどく折れ曲がった物は再印刷してまいります。ページをめくる際にはご注意ください。また、めくり難しいものにお気づきの際には、お知らせください。

Q2：特定の著者や、文学賞受賞作別の著作リストを作ってもらえるのか。

A2：たとえば、「芥川龍之介の著作リストをゴシック体 26 ポイント程度で」「直木賞受賞作のリストを点字で」「恋愛小説を何作か紹介して」など、具体的な希望を伝えていただければ、図書リストを作成し、ご自宅に送付することができます。料金はかかりません。お気軽にお申込みください。

7 開館及び電話受付時間と8～10月の休館日

● 開館及び電話の受付時間

午前9時～午後5時

● 8～10月の休館日

☆8月の定例休館日

5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

☆9月の定例休館日

2日(月)・9日(月)・16日(月)・17日(火)・23日(月)・
24日(火)・30日(月)

☆9月の臨時休館日

15日(日)・29日(日)

☆10月の定例休館日

7日(月)・14日(月)・15日(火)・21日(月)・28日(月)

=====

【編集後記】

4年ほど前から、メダカを飼育しています。もともと、魚やカメなどの水棲動物は好きなのですが、小さな水盤にスイスイと泳ぐメダカたちの姿はとても美しく、また繁殖も容易なことから夢中になってしまい、エサをあげつつ眺めるのが朝のひとときの楽しみとなっています。

先日の大雨で、体の大きな母親メダカが雨水に流されてしまいました。外に出したままだったことを悔やみましたが、数日後、水の中にたくさんのメダカの稚魚たちの姿を発見。卵を残していたのです。いま、その子どもたちはすくすくと成長中です。たいせつに育てていこうと思っています。(浅野)

メールにいがた(新潟県点字図書館だより)
(第103号2013年8月)
発行 新潟県点字図書館

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1
新潟ふれ愛プラザ内
TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115
E-mail tosy@ngt-shikaku.jp
URL <http://ngt-shikaku.jp>

日常生活支援機器情報コーナー(no.7)

「クラウドサービスの活用法」

現在の ICT 関連のキーワードの一つに「クラウド」が上げられます。「クラウドによる連携」とか「クラウドによる共有」など、表には出ませんが「クラウド」という言葉はニュースでもよく聞かれると思います。そこで今回は「クラウド」について、簡単に説明したいと思います。

「クラウドサービス」とはデータをパソコンやスマートフォンには保存せず、インターネット上に保存するサービスのことを言います。そのサービスの一つに「Dropbox」があります。2GB までは無料で使用することができ、設定さえ終わってしまえば、使い方は簡単です。どのような使い方が可能か下記に簡単に説明したいと思います。

- 1 自分のデータの保存用として使用。私はこの利用方法を使っています。自分の書いた文や書類は「Dropbox」に保存を行います。こうすると、もしパソコンが壊れて、リカバリーしたとしても、「Dropbox」を入れればインターネット上に保存したデータもパソコンにコピーしてくれ、あっという間にデータの復旧が完了します。
- 2 スマートフォンとの連携。音楽やデジータデータをパソコンの「Dropbox」に保存します。そして、外出先から iPhone やスマートフォンを利用して「Dropbox」上にある音楽を聴いたり、複雑な操作とはなりませんが、デジータ図書を楽しむことも可能です。
- 3 健常者との原稿のやりとり。このサービスには「共有」という機能があります。私の場合、健常者の知り合いと「Dropbox」内のあるフォルダを共有の設定にしておきます。私が書いた原稿はその共有フォルダに保存します。すると知り合いも「Dropbox」内に同じ共有のフォルダが作られ、私のファイルと共有されます。知り合いが原稿を修正してくれれば、私のパソコンにもすぐに反映されます。これでメールのやりとりをせず、常に最新版の状態を保つことが可能となります。その他にも友人との写真のやりとりやソフトの転送など、容量を気にしないでデータのやりとりが可能です。

スマートフォンが主流になるこれからの時代、ますますこのようなサービスが増えてくると考えられます。

記事掲載ご協力及び製品のお問合せ先】

株式会社ラビット代表取締役 荒川 明宏

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7 スカイパレス 401

電話 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645

メール eigyo@rabbit-tokyo.co.jp